

7月のTLG（日本の異常気象）



今月も異常気象について。
7月20日に西日本を襲った豪雨は死者225名、被災者4,000名、
昨年の九州北部豪雨（死者41名）を上回る甚大な被害を受けました。



最悪だったのはその後発生した 台風12号が、
前例のないコースで西日本を襲ったことです。
中部地方に上陸した後、中国地方、九州南部と
西進し、九州南海上で1回転をした後、東シナ海
から中国大陸へと移動しました。東から西へ
進む台風は初めてです。



異常気象は日本だけではなく。
ギリシャやカナダ、米国西部では異常
高温で 山火事が続発し焼失面積は
東京都に匹敵するともいわれています。

(ブラジルの文化とビジネス)

BRICSの一つであるブラジルは、日本人移民で知られていますが近いようで遠い国です。ポルトガルの植民地であったことから政治経済は西洋的です。東京からシカゴ経由でブラジルの産業の中心地サンパウロまで26時間のフライト。今回はコーヒー豆の積出港として栄えた、今は南米最大のコンテナ港、サントスを訪ねました。



サントス港に入港するコンテナ船、はるばるハンブルグから航海してきた大きな船が目の前を通るのは壮観です。



コンテナヤードはとにかく大きくて広い。何台か数えきれないくらいのがントリークレーンがそこらじゅうで荷捌きしています。客先へ正確に届けるのは思った以上大変です。

サントスからサンパウロまでは標高差750m、40ftコンテナを牽引するトラックには厳しい道のりですが、時速10kmとゆっくり、力強く登っていくトレーラーに「頑張れ」といいました。時間通り荷物を届けるのは想像以上に大変だな。



ブラジルの文化

ブラジルといえばコーヒー、サントスにはコーヒー豆の「競り」場が今はコーヒー記念館として公開されています。古いヨーロッパを感じさせる建物、競り場にコーヒーテイasting用の丸テーブルが感じ出てます



ブラジルのヒーローといえば、この二人、F1のセナとサッカーのペレ、今でもブラジルの誇りです。

音速の貴公子
アイルトン・セナ



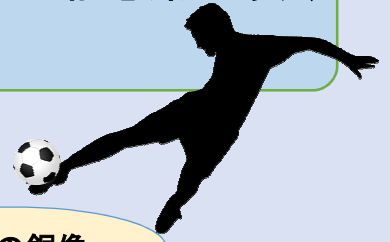
町中の公園墓地にひっそりとセナのお墓はありました。きれいに手入れされていました。



ストリートアートでセナを描いています。凄い！



ペレが活躍した「SFC」サントスフットボールクラブ、その中にサッカー記念館があり、そこに、偉大なペレを称えた記念の品が展示されています。



SFCのホーム
町中にあります

ペレの銅像



ストリートアート紹介
ここまできると、落書きではなく、芸術で



ガスタンクも
アートです



もう一つの文化はブラジルの食
「シュラスコ」ブラジルBBQです



本番のシュラス



その後、TUI, Jとシュラスコ
パーティーを開催しました

ブラジル情勢 聞き取り調査から 2018・7・14 レポート

項目	内容	参考
月最低賃金	1,000BRL	¥25,000/月 未経験作業員 40%は税金、社会保障費で政府へ
実質手取り	600BRL	¥15,000/月 最低賃金では生活できず、アパートで600BRL/月かかる
管理職賃金	10,000BRL	¥250,000/月 事務職の場合(5,000~8,000の場合もある)
実質手取り	6,000BRL	¥150,000/月 5年たつと16,000BRLになり会社は32,000BRLの負担
会社負担	100%	10,000BRL払う場合は10,000BRLを別に負担、合計20,000BRLが労務費
年率アップ	約10%	8~10%を国が決める
有給休暇	30日	12か月働けば、自動的に30日付与 30日のうち10日休めば20日分給与(それも100%負担)
賞与	1か月分	総給与は年間13か月分
利益配分	実績	利益が出たら従業員に配分
残業	2Hr/日以内	総労働時間の規制がある
レート	3.85/US\$	4BRL=1US\$でいい。10,000BRL=US\$2,500 となる
失業率	12%	高止まり
インフレ率	3.50%	ここ数年は安定して3~5%のインフレ率

上記の結果、会社は長期に勤務する人よりも、新人で採用しないと労務費がどんどん増えていく。

働く方も、そこが分かっている、「ずるがしこい」対応をする⇒どうせ首になるなら働かない

ただ常に新人だと600BRL=150US\$で1月生活はできないので、そこが犯罪の温床になっているようだ

その他	面積851.7万平方キロ(日本の23倍)人口2億600万(日本の1.7倍)経済規模は世界7位	
麻薬死者	8,000人/月	ブラジル全土で麻薬取引に関して銃殺された人数、年間10万人
バイクの事故	30人/日	サンパウロでバイク事故での志望者数、全土では年間13万人ともいわれている
ビジネスの成功	ブラジルで事業を行うには各種税金など複雑で経営は簡単ではない	
	ただしそういう中でも経営に成功している日系の会社がある	
	サロンパスの久光製薬とヤクルト、この2社に加え、アルミのYKKが成功している	
	3社の企業分析が成功への道筋かもしれない	



東京港からブラジル、サントス港までの航路 40日くらいかかります